

機械器具51 医療用嘴管及び体液誘導管

管理医療機器

輸血・カテーテル用アクセサリセット 70326002

プラネクタ

再使用禁止

(バイアルアクセス)

【警告】

- 混注口は、混注前に消毒用アルコール綿等で消毒すること。
[細菌の混入の可能性がある。]

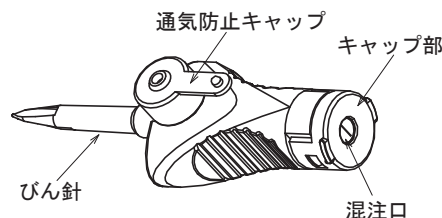
【禁忌・禁止】

- 再使用禁止
- 注射針を用いて混注等しないこと。[混注口を破損させ、薬液漏れや汚染の可能性がある。]

*【形状・構造及び原理等】

針を穿刺せずに混注できる混注口を有し、薬液ボトル等に接続するびん針部がある。

<構成(代表例)>



・上記製品と当該製品の構成が異なる場合がある。*

*【使用目的、効能又は効果】

輸液セット等のラインの途中又は薬液ボトルに接続し、薬液の混注口、採液口として使用する。*

なお、本品は薬液ボトルに接続し、薬液の混注口として使用する。

**【品目仕様等】

39. 2kPaの圧力を加えたとき空気漏れがない。**

**【操作方法又は使用方法等】

1. 包装から本品を取出します。
2. 針力バーを外し、薬液ボトルに刺通します。
3. 混注等はオスルーアを有するシリンジを使用し、以下の手順で行います。

○注入又は採液する場合

- (1) 消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ部を消毒します。
- (2) 混注口にシリンジのルーア部を垂直に挿入し、先端が止まるまでしっかり押し込みます。
- (3) ゆっくりと薬液の注入又は採液をします。
- (4) 注入又は採液後、シリンジを混注口から引き抜き、消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ部に付着した薬液を拭き取ります。*

○加圧注入を行う場合

- (1) 本品の通気口を通気防止キャップで閉じます。
- (2) 消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ部を消毒します。
- (3) 混注口にシリンジのルーア部を垂直に挿入し、先端が止まるまでしっかり押し込みます。
- (4) 注入後、シリンジを混注口から引き抜き、消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ部に付着した薬液を拭き取ります。*

使用方法に関連する使用上の注意

- 本品を鉗子等で叩かないこと、及び衝撃を与えないこと。[キャップ部等が破損する。]**
- シリンジ等との接続を外す際は、本品を手で固定し、他の接続部が緩まないように注意して外すこと。
- 薬液ボトルへの刺通は、びん針の段差部分まで確実に行うこと。

**【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、使用すること。*
- 包装を開封したらただちに使用すること。
- 包装が破損、汚損している場合や、製品に破損、変形等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- 開封時は接続部の外れや緩みがないことを確認してから使用すること。
- 使用中は本品の破損、接続部の緩み及び薬液漏れ等について、定期的に確認すること。
- 本品は血液バッグには使用しないこと。
- 本品からの過度な加圧又は陰圧使用は行わないこと。[破損、液漏れ及びエア混入の可能性がある。]**
- 混注操作を繰り返しているうちに混注口に緩みや液漏れ等が生じた場合、新しい製品に交換すること。
- 本品の消毒剤にポビドンヨードを使用しないこと。[ポビドンヨードの析出物が混注口内部に侵入する、又は混注口が着色及び膨潤する可能性がある。]*

2. その他の注意

- 混注口には直接手を触れないこと。*
- 使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2. 使用期限

- 箱の使用期限欄を参照すること。[自己認証(当社データ)により設定]

【包装】

25個/箱

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元及び製造元*

株式会社ジェイ・エム・エス

広島市中区加古町12番17号

郵便番号：730-8652

電話番号：082-243-5806